

[資料 1] スコラスティサイドの定義

出典：Scholars against the War on Palestine (SWAP)

chrome-extension://efaidnbmninnibpcajpcglclefindmkaj/https://scholarsagainstawar.org/wp-content/uploads/2024/02/Scholasticide-Definition.pdf

スコラスティサイド (Scholasticide) とは、オックスフォード大学の教授であり、戦争法の専門家であるパレスチナ人のカルマ・ナブルーシー教授による造語である。彼女は、2009 年のイスラエルによるパレスチナのガザに対する攻撃という状況をふまえてこの用語を概念化した。それと同時に 1948 年のナクバに遡り、1967 年の第三次中東戦争と 1982 年のイスラエルによるレバノン侵攻後に拡大した、パレスチナ人の学者・学生・教育機関に対するイスラエルの植民地主義的攻撃のパターンにも言及している。

この用語は、ラテン語の接頭辞「schola」（学校）と接尾辞「cide」（殺害）を組み合わせたものである。ナブルーシー教授は、パレスチナ人が持つ勉学への伝統的な志向を阻むために行われた「イスラエルによるパレスチナ教育の組織的な破壊」を表現するためにこの用語を使用した。彼女は、このパレスチナ人の勉学への志向は「占領社会において教育が果たす大きな役割と力」を反映するものだと指摘し、思想の自由こそが「可能性を提示し、地平を開く」ものであり、「アパルトヘイトの壁、足かせとなる検問所、そして息苦しい監獄」に対抗するものだとして指摘している。ナブルーシー教授は、「パレスチナの伝統とパレスチナ革命における教育の重要性」を認識しているが、それゆえイスラエルの植民地政策立案者たちは「パレスチナ人の教育発展を容認することはできず、破壊せざるを得ないのだ」と述べる。

2023 年から 2024 年にかけてイスラエルがパレスチナのガザで行っているジェノサイド戦争において、スコラスティサイドは前例のない規模で激化した。ガザにおけるイスラエルの植民地政策は、教育の組織的な破壊の段階から完全な絶滅へとその重点を移したのである。実際、ジェノサイドとスコラスティサイドの間には密接な関係がある。ジェノサイドを初めて定義し、その概念を国際法に組み込む上で重要な役割を果たした、ポーランド系ユダヤ人の先駆的な法学者、ラファエル・ラムキンは、ジェノサイドを「社会秩序の根本的基盤を弱体化させる」試みと捉えていた。ラムキンの考えでは、この試みの鍵となるのは、国民・民族・人種・宗教などの諸集団の文化への攻撃であった。

スコラスティサイドとは、国民・民族・人種・宗教などの諸集団の教育生活の全面的または部分的な組織的破壊を伴う、以下のいずれかの行為を指す。

- 1) 大学や学校の教員、生徒・学生、職員、運営者の殺害や暗殺。

- 2) 大学や学校の教員、生徒・学生、職員、運営者への身体的または精神的危害。
- 3) 大学や学校の教員、生徒・学生、職員、運営者の逮捕、拘留、投獄。
- 4) 大学や学校の教員、生徒・学生、職員、運営者への組織的な嫌がらせ、いじめ、脅迫。
- 5) 教育機関への爆撃や破壊。
- 6) 図書館、文書館、実験室などの教育研究資源、ならびに運動場、運動場、公演会場、食堂、寮などの教育プロセスを支援する施設の破壊および/または略奪。
- 7) 被害を受けた学校や大学の再建に必要な資材の搬入の妨害。
- 8) 新たな教育施設建設の妨害。
- 9) 学校や大学を包囲し、兵舎、兵站基地、作戦本部、武器弾薬庫、拘留・尋問センターとして使用する。
- 10) 教育機関の閉鎖および/または日常業務の妨害。
- 11) 教育機関への侵入。
- 12) 教員、生徒・学生、職員の教育機関へのアクセス制限。
- 13) 未成年被拘禁者を含む政治犯に対する教育の拒否。
- 14) インターネットへのアクセスを妨害し、電力供給を妨害し、書籍や実験器具などの教育用品の自由な持ち込みを阻止すること。
- 15) 査証発給拒否その他の制限により、教員の採用を阻止し、教育機関への入国を拒否すること。
- 16) 海外で教育を受ける可能性のある学生または研究者の居住権を剥奪すること。
- 17) あらゆる形態の学術交流を阻止すること。
- 18) 教育機関への国際的および国内的な資金提供を妨害すること。

これらすべての行為は現在、パレスチナのガザで壊滅的な影響を及ぼしながら実行されている。これらは、占領地における社会秩序の再生を阻害し、居住不可能な状態にするための広範な取り組みの一環として、包括的な民族浄化への道を開くジェノサイド行為の一部である。これらの行為の多くは、長年にわたり、ヨルダン川西岸地区と東エルサレムの教育機関やコミュニティに対して行われてきたものであり、その一部はイスラエル内で暮らすパレスチナ系市民も経験してきたものである。

[資料2] ガザの大学の被害状況(2024 年 1 月及びその後)

Known Status of Universities in Gaza as of January 2024

ガザには 12 の大学があるとされるが、今回依拠した 2 つの資料（「出典」参照）は、15 の大学（分校を含む）について言及している。このうちガザのトップの二大学である（2）のアル・アズハル大学と（7）のイスラーム大学は、戦闘機とミサイルによる絨毯爆撃を受け完全に破壊され、瓦礫の山になっている。また、資料 3 でその一部を示したが、イスラエル軍の攻撃によって、3 名の大学学長と約百名の学部長・教授が殺害されている。それぞれの大学のホームページを訪れると、破壊前のきれいなキャンパスや教室・実験室で研究・教育を続けている教員・学生の姿が今も残っている。

（1）AL AQSA UNIVERSITY（アル・アクサー大学）

1955 年にエジプト行政府が設置した教員養成学校が前身 1991 年に国立師範大学となる
2001 年にアル・アクサー大学と改称 2022 年段階で 32 の教習所 2 万 6000 人の学生
キャンパスはガザ市とハーン・ユーニス
避難所として使われていたが 2023 年 11 月 4 日爆撃、さらに 2024 年 1 月 22 日に砲撃を受ける

（2）AL AZHAR UNIVERSITY – GAZA（アル・アズハル大学）

第一次インティファダ期の 1991 年に設立 ピーク時には 12 の学部 1 万 7000 人の学生
キャンパスはガザ市と同南部
南部キャンパスは 2023 年 10 月に空爆を受けて破壊 ガザ市キャンパスは一時期シェルターとして使用されていたが、11 月 6 日に空爆を受けて破壊

（3）AL QUDS OPEN UNIVERSITY（アル・クドス通信制大学）

1991 年 PLO によって設立 パレスチナ自治政府地区で最初の通信制教育機関
もっとも多い年には 6 万人が就学 19 の支部と通信センターが西岸とガザにあった
キャンパス：アル・ナスル Al Nassr 地区
大学の建物はイスラエル軍の兵舎やシェルターに転用後に 2023 年 11 月 15 日に爆撃

（4）AL UMMA UNIVERSITY（ウンマ大学）

1983 年設立 ワクフ省に所属 西岸のウンマ大学の分校？
キャンパス：アル・ザハラー Al Zahra 地区
破壊された

（5）ARAB COLLEGE OF APPLIED SCIENCES（アラブ応用科学大学）

1999 年設立

キャンパス：ラファハ Rafah

空爆による損傷

(6) GAZA UNIVERSITY (ガザ大学)

2006 年設立 法学部・教育学部・コンピューター・サイエンス学部など 10 の学部

キャンパス：ガザ市

2023 年 12 月に空爆

(7) ISLAMIC UNIVERSITY OF GAZA (ガザ・イスラーム大学)

1978 年創立 2023 年学生数 1 万 7000 人

キャンパス：ガザ市、アル・ザハラー Al Zahra 地区、ハーン・ユーニス

2023 年 10 月 10 日夜 (11 日) に攻撃を受け破壊 (これまでも 2008-09 年、2014 年の攻撃で破壊されてきた)

アル・ザハラー・キャンパスも破壊、ハーン・ユーニス・キャンパスは不明

(8) ISRAA UNIVERSITY (イスラー大学)

2014 年設立 パレスチナの歴史・文化教育に重点 設立 10 年目の今年は博物館を開館した

キャンパス：ガザ市

イスラエル軍兵士による 70 日間の占拠後に 2024 年 1 月 17 日に組織的破壊 (Destroyed in controlled demolition)

(9) PALESTINE COLLEGE OF NURSING (パレスチナ看護大学)

キャンパス：ハーン・ユーニス

現在、シェルターとして使用

(10) PALESTINE TECHNICAL COLLEGE (パレスチナ工科大学)

1993 年設立 学生数 1800 人

キャンパス：デイル・バラハ Deir Al Balah 地区

2023 年 11 月段階では北部及び中央部から避難してくるパレスチナ人住民のシェルターとして使用されていたが、現在の状態は不明

(11) UNIVERSITY COLLEGE OF APPLIED SCIENCES (応用科学大学)

1998 年設立 中心キャンパスはガザ 2023 年で 8500 名の学生

寄付金による非営利団体 ビジネスリーダーの育成を目指す

避難民のシェルターとして使われていたが 2024 年 1 月 22 日イスラエル軍による攻撃で破壊

(12) UNIVERSITY COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY (科学技術大学)

1990 年私立大学として設立

キャンパス：ハーン・ユニス

不明。居住地区に近いキャンパスの一部は空爆を受けたが、全体としては無事か

(13) UNIVERSITY OF PALESTINE (パレスチナ大学)

2005 年 ガザ市南部のザフラー地区に設立 私立大学

避難民のシェルターとして使われていたが 2024 年 1 月 17 日に 300 以上の地雷で爆破

(14) HASSAN II UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND ENVIRONMENTAL SCIENCES

(ハサン 2 世農学環境学大学)

1992 年設立 ガザのベイト・ハヌーン地区に設立 モロッコのムハンマド 6 世の寄付 780 万米ドルによって

2023 年 12 月にイスラエル軍によって破壊

(15) DAR AL-KALIMA UNIVERSITY: GAZA TRAINING CENTRE (ダール・カリーマ大

学：ガザ訓練センター)

2006 年設立 2013 年単科大学として認可 2021 年総合大学として認可

本校ベツレヘムの分校としてガザ市に 2020 年芸術家の養成を目的に設立 写真・ビデオグラフィック・絵画・彫刻 コンサート・ラジオ放送・伝統民間音楽 イスラエルの攻撃後の子どものトラウマのケアなども行う

2024 年 3 月 27 日にガザ市最大の医療機関であるシェファール病院 al-Shifa Hospital が空爆された際に近隣の建物と一緒に破壊し瓦礫の山に。西岸の本部の報告によれば完全に破壊されたという。同大学ラヘーブ学長は破壊の写真を SNS に投稿 (2024 年 4 月 1 日)。

([posted pictures of the destruction on social media](#) [pic.twitter.com/aXVnYeSrhW](https://www.ucc.org/destruction-of-ucc-partners-clinic-university-in-gaza-during-holy-week-testifies-to-horrors-of-ongoing-crisis/)
<https://www.ucc.org/destruction-of-ucc-partners-clinic-university-in-gaza-during-holy-week-testifies-to-horrors-of-ongoing-crisis/>)

(主な出典)

<https://www.middleeasteye.net/explainer-gaza-israel-palestine-war-university-destroy>

“Which universities in Gaza has Israel destroyed?”

Middle East Eyes, 15 May 2024

<https://thenational.shorthandstories.com/israel-gaza-war-palestine-universities/>

“The War on Education: How Israel’s destruction of schools and universities will set Gaza back decades” *The National*, By Nagham Mohanna and Nada AlTaher

[資料 3] 殺害された研究者・教員のリスト

【出典と解説】本資料は、下記のサイトに掲載されたリスト（90 名）に翻訳を付し、さらに殺害された個々の人物についての関連サイトの情報を追記したものである。末尾には、他のリストの情報も参考までに付した。

An Incomplete List of the Academics or Higher Education Staff Killed during Israel's War on Gaza

<https://thenational.shorthandstories.com/israel-gaza-war-palestine-universities/>

“The War on Education: How Israel's destruction of schools and universities will set Gaza back decades” by Nagham Mohanna and Nada AlTaher

訳している中で、本文で言及した（4）スフヤーン・ターイエフ学長（ガザ・イスラーム大学）に加え、とくに目に留まったのが、以下の人たちである。

※識字率の向上などガザの教育発展に貢献した（5）イブラヒーム・ハーメド・アル・アスタル教授、※イスラエルの攻撃による子どもたちのトラウマの治療に当たってきた（15）ファーデル・アブー・ヘイン教授、※国際法の専門家でイスラエルの戦争犯罪を告発してきた（16）サイード・タラール・アル・ダフシャーン博士、※We Are Not Numbers の設立者で *if I Must Die* の詩で知られる（19）リファアト・アル・アルイール（アラリール）博士、

※パレスチナ人の歴史体験を記録し発表してきた作家・歴史学者たち：（60）ヌール・アル・ディー・ハッジャージ、（64）ムスタファー・アル・サッワフ講師、（66）ヒバ・カマール・アブー・ナダー、（69）アブデルカリーム・ハシャーシュ博士、（83）ジハード・スレイマーン・アル・マスリー教授、

※アル・シファー病院などガザで医療活動・医学教育の中軸を担ってきた医師・医療従事者たち：（1）オマル・サーレハ・ファラワーネ教授、（3）アハマド・サラハ・アル・ダールー教授、（7）アゾー・アフアーナ教授、（13）ラファアト・ラッバード博士、（15）ファーデル・アブー・ヘイン教授、（17）ムハンマド・ダブブル博士、（55）ズィアード・アル・タトリ博士、（56）マイサラ・アル・ライエス博士、（61）ナーヘド・アル・ハラゼーン博士、（62）ニダール・カッドーラ博士、（67）ハツマーン・アル・ルーフ博士、（76）ホサーム・ハマダ博士、（78）バツサーム・シャヒーン博士、（79）ハリール・ナッハーラ博士

(1) オマル・サーレハ・ファラワーネ教授

67 歳 ガザ・イスラーム大学元医学部長 専門：不妊治療 2023 年 10 月 15 日タッル・アル・ハワーの自宅で妻、子どもたち、孫たちとともに空爆により殺害

Prof Omar Saleh Farawneh, 67, professor in infertility, and former dean of the Faculty of Medicine in the Islamic University. Killed with his wife, children and grandchildren in an air strike on their home in Tel Al Hawa on October 15, 2023. عمر صالح عمر فروانه

【関連サイト：<https://www.aintnumbers.com/2023/10/15/omar-saleh-omar-farwaneh/>】によれば、エジプトで学んだ後、英国で学位取得。30 年にわたる医療活動。一緒に殺害された子ど

も・孫は 14 名]

(2) タイシール・イブラヒム教授

ガザ・イスラーム大学シャリーア・法学部学部長 2023 年 10 月 17 日ヌセイラート難民キャンプで家族と共に殺害

Prof Tayseer Ibrahim, dean of the Faculty of Sharia and Law at Islamic University of Gaza, killed alongside his family in an air strike on Nuseirat refugee camp on October 17, 2023.

[関連サイト：<https://www.adscientificindex.com/scientist/tayseer-ibrahim/5023607>]

(3) アハマド・サラハ・アル・ダールー教授

パレスチナ大学前医学部長 2023 年 10 月 19 日に家族の他の 41 名とともにイスラエル軍の空爆により殺害

Prof Ahmed Salah Al Dalu, former dean of the Faculty of Medicine in University of Palestine. killed with 41 other family members in Israeli bombing on October 19, 2023.

[関連サイト：<https://gazahcsector.palestine-studies.org/en/node/1096>;および

<https://gigaza.org/en/martyrs/ahmed-salah-rashed-al-dalu/> によると 52 歳 1971 年 4 月生まれ ハルツーム大学で学ぶ サウジアラビアの二つの大学で教員として務めた後、パレスチナ大学医学部長 (2017~22 年)]

(4) スフヤーン・ターイエフ学長

ガザ・イスラーム大学学長 パレスチナのユネスコ物理・天体物理学講座長に任命 スタンフォード大学が 2021 年に選んだ世界トップ 2%の科学者 2023 年 12 月 2 日ジャバリーヤ難民キャンプの親戚の家で空爆に遭い家族と共に殺害 الدكتور سفيان عبد الرحمن تايه

Prof Sufyan Tayeh, president of the Islamic University of Gaza. Was appointed UNESCO chair for Physical and Astrophysical sciences in Palestine and was listed as one of the “top 2 per cent of scientists worldwide identified by Stanford University” in 2021. Killed with his family in an Israeli air strike on his relative’s home in Jabalia refugee camp on December 2, 2023.

[関連サイト：<https://www.aintnumbers.com/2023/12/02/dr-sufian-abdul-rahman-tayeh/>

https://en.wikipedia.org/wiki/Sufian_Tayeh によれば 1971 年ガザ北部のジャバリーヤ難民キャンプで生まれる UNRWA の小学校で学び 後に 1994 年ガザ・イスラーム大学物理学科を卒業 2019 年と 2020 年にパレスチナ・イスラム銀行科学研究賞を受賞 2021 年にはアブドゥル・ハミード・ショーマン若手アラブ科学者賞とイスラーム大学科学研究賞を受賞 彼の研究対象は、光導波路、光導波路センシング、エリプソメトリー、色素増感太陽電池、OLED など多岐にわたっていた。

(5) イブラヒム・ハーメド・アル・アスタル教授

ガザ・イスラーム大学教育学部長 妻と娘たち、その他親族と共に 2023 年 10 月 23 日の自宅への空爆により殺害 إبراهيم الأسطل

Prof Ibrahim Hamed Al Astal, dean of the Faculty of Education and professor at Islamic University of Gaza. Killed with his wife, daughters and other relatives in an air strike on his home on October 23, 2023.

[関連サイト：https://en.wikipedia.org/wiki/Ibrahim_al-Astal

https://historica.fandom.com/wiki/Ibrahim_al-Astal

によると ガザ出身 1961 年 1 月生まれの 62 歳 エジプトのアイン・シャムス大学、UAE のアジュマン大学で教員を務めたのちにガザ・イスラーム大学に 教育の専門家として 世銀などのプログラムでガザの学校教育制度の発展に貢献 87 名の親族と共に殺害]

(6) ナシーム・バルード教授

地理学教授 ガザ・イスラーム大学文学部前学部長 2023 年 10 月 25 日シャティー難民キャンプで 5 人の家族と共に殺害

Prof Naeem Baroud, professor of geography and former dean of the Faculty of Arts at Islamic University of Gaza. Killed along with five members of his family in Shati refugee camp in Gaza on October 25, 2023.

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3569>

<https://gigaza.org/en/martyrs/naeem-salman-mohammed-baroud/>

<https://aurdip.org/en/over-100-academics-killed-in-gaza-war/>

61 歳 文学部長 (2021-22 年) 国際エルサレム財団理事会役員

(7) アゾー・アフアーナ教授

ガザ・イスラーム大学教授 2023 年 11 月 1 日にデイル・アル・バラハの爆撃により殺害

Prof Azo Affana, professor at the Islamic University of Gaza, killed by Israeli bombing in Deir Al Balah on November 11, 2023. عزو إسماعيل عفانة

[関連サイト：<https://archive-2025.airwars.org/civilian-casualties/ispt0836-november-2-2023/>

<https://archive-2025.airwars.org/civilian-casualties/ispt0836-november-2-2023/> によると

69 歳 妻と 4 人の子息と孫娘一人を含む 15 名の親族と共に殺害 教授および息子の 3 人は医学者であり、医師一家であった]

(8) ムハンマド・バヘイト教授

ガザ・イスラーム大学ウスール・ディーン (神学) 学部元学部長 2023 年 10 月 26 日に家族と共に殺害

Prof Mohammad Bakheit, former dean of the faculty of fundamentals of religion at the Islamic University of Gaza. Killed with his family on October 26, 2023.

(9) マフムード・アブー・ダッフ教授

ガザ・イスラーム大学元教育学部長 2023 年 12 月初旬、妻（次のリストにあり）と共に自宅に空爆があり避難したところをスナイパーによる狙撃で殺害 محمود أبو داف

Prof Mahmoud Abu Daf, former dean of Faculty of Education at the Islamic University of Gaza. He and his wife (listed below) were killed by a sniper after surviving an air raid on their home in early December 2023.

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3537> 殺害されたのは 12 月 1 日]

(10) ヒターム・エルワシーフィー博士

ガザ・イスラーム大学理学部副学部長・物理学教授 夫の (9) ムハンマド・アブー・ダッフ教授と他の家族全員と共に殺害 ختام الوصيفي

Dr Khitam Elwasife, physics professor and deputy dean for the Faculty of Science at Islamic University of Gaza. Killed with her husband, Mahmoud Abu Daf, and other family members in early December 2023.

[関連サイト：<https://www.researchgate.net/profile/Khitam-Elwasife>
<https://scholar.google.com/citations?user=Ssu2Ny4AAAAJ&hl=en>

(11) ムハンマド・イード・シャビール博士

微生物学教授 ガザ・イスラーム大学の元講師・元学長 2023 年 12 月 14 日に妻と義理の娘、長男とともに自宅を空爆されて殺害 محمد عيد حماد شبير

Dr Muhammad Eid Shabir, microbiology professor, and former lecturer and president of Islamic University of Gaza. Killed with his wife, daughter-in-law and eldest son in an air strike on his home on November 14, 2023.

[関連サイト：https://en.wikipedia.org/wiki/Mohammed_Shabir によると 1946 年生まれ 77 歳 学者にして政治家 ハーン・ユニス出身 マーシャル大学で学位取得 ガザ・イスラーム大学の学長を 1990 年から 2005 年まで務めた パレスチナ評議会選挙でハマースが勝利した後の 2007 年挙国一致内閣（ファタハとハマースが合意）では、総理大臣に就任する予定であったが この合意が破綻したため 2008 年ファイヤードが代わりに首相となった その後もハマースとファタハの仲介役を務めてきた 妻レハーブ・ムハンマド・シュバイルはパレスチナ自治政府の女性関係省の副大臣も務めた 赤ちゃんを含めた 5 人が殺害]

(12) サーレム・アブー・マハッダ教授

ガザ・イスラーム大学のイスラーム法学研究者 デイル・アル・バラハで 2023 年 10 月 19

日に空爆により殺害

Prof Salem Abu Makhadda, academic and researcher in Islamic jurisprudence at Islamic University of Gaza. Killed in air strikes on October 19, 2023, in Deir Al Balah.

(13) ラファアト・ラッバード博士

アル・シファー病院内科部長 2023 年 11 月 18 日、ガザ市で家族と共に殺害

Dr Rafat Labbad, head of internal medicine at Al Shifa Hospital. Killed in air strike with his family in Gaza city on November 18, 2023.

[関連サイト：<https://x.com/GazaMartyrs/status/1770419186361090210>
<https://www.instagram.com/p/C0HgUCiOsJK/>]

(14) シャハーダ・アル・バフバハーニー教授

詩人で作家でもあった教授 ガザ中央部のブリージュ難民キャンプで 2023 年 10 月 24 日にバフバハーニー家族と共に殺害

Prof Shahada Al Bahbahani, poet, writer and professor. Killed alongside the Al Bahbahani family in Bureij refugee camp in central Gaza on October 24, 2023.

[関連サイト：<https://airwars.org/citation/faces-of-civilian-deaths-in-gaza/>
<https://www.kuna.net.kw/ArticleDetails.aspx?id=3126287&language=en>

12 人の女性、6 人の子どもを含む少なくとも 22 名のアル・バフバハーニー家の人たちが殺害された クウェートの国連代表部のアリー・アル・バフバハーニー氏による批判]

(15) ファーデル・アブー・ヘイン教授

アル・アクサー大学で 20 年以上にわたり心療医学の教授を務める 精神医学の研究者として数多くの学術論文を発表 2024 年 1 月 23 日にハーン・ユニスでイスラエル軍のスナイパーによって殺害

Prof Fadel Abu Hein, professor of mental health at Al Aqsa University for more than 20 years. He was a researcher in psychiatry, having published many academic articles throughout his career. Killed by Israeli snipers in Khan Younis on January 23, 2024.

[関 連 サ イ ト : <https://www.middleeasteye.net/news/war-gaza-prominent-professor-al-aqsa-university-killed-israel> ガザの危機管理コミュニティ訓練センター (CTCM) の所長でもあった。イスラエル軍の攻撃によるトラウマに苦しむ子どもたちの治療に長年たずさわる 2003 年のイスラエル軍の侵攻に際しては逮捕され、長期間の尋問を受けたこともあった。彼のトラウマ治療についてのインタビュー: "After Israeli war, Gaza children speak of trauma and horror" Children are vulnerable. They do not have the mechanisms that adults have to cope with the difficulties they are going through. A four or five-year-old does not understand the political conflict Palestine is going through yet."

<https://www.newarab.com/news/after-israeli-war-gaza-children-speak-trauma-and-horror>]

(16) サイド・タラール・アル・ダフシャーン博士

国際法の専門家、エルサレム・パレスチナ支援のためのグローバル連合副事務局長 『どのようにイスラエルを訴追するか?』: イスラエルとイスラエルの指導者をパレスチナ人に対する犯罪のため訴える国際追訴の著者 2023 年 10 月 11 日にガザ市の自宅にて家族と共に空爆により殺害 سعيد طلال الدهشان

Dr Saeed Talal Al Dahshan, expert in international law, deputy secretary general of the Global Coalition to Support Jerusalem and Palestine, and author of the book *How to Sue Israel?: The International Prosecution of Israel and Its Leaders for Their Crimes Against the Palestinians*. Killed with his family in an air strike on their home in Gaza city on October 11, 2023.

[関連サイト: <https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3634>

1972 年 3 月ガザ市生まれ レバノンのジャナーン大学で修士号・博士号 マレーシアのイスラーム科学大学でも博士号 2006-09 年パレスチナ自治政府外務大臣室事務局長 『どのようにイスラエルを訴追するか?』(17 年)『パレスチナと国際刑事裁判所』(2020 年)の著作の他、数多くの論文を発表 本の出版元 Al-Zaytouna Center for Studies and Consultations <https://law4palestine.org/al-zaytouna-center-for-studies-and-consultation-publishes-a-book-entitled-how-to-sue-israel-the-international-prosecution-of-israel-and-its-leaders-for-their-crimes-against-the-palestinians/>

Pen International “War on Writers: A look at writers killed in Gaza”

<https://www.pen-international.org/war-on-writers-gaza-cases->

(17) ムハンマド・ダッブール博士

癌病理学者 ガザ・イスラーム大学医学部・前臨床部長 2023 年 10 月 13 日にイスラエルの空爆で殺害

Dr Mohammad Dabbour, cancer pathologist and head of the preclinical department in the college of medicine at Islamic University of Gaza. Killed in Israeli air strikes on October 13, 2023.

[関連サイト: https://cancerletter.com/letter-to-the-editor/20231110_4/

“Mohammed Dabbour, cancer pathologist, killed in Gaza”

<https://gazahcsector.palestine-studies.org/en/node/535>

1982 年 2 月生まれ ガザで最初の患者の生検検査研究所を設立 ガザで最初で唯一の病理学専門医 アル・シファー病院の病理学専門医も務めていた

(18) オサーマ・アル・ムズィーニー博士

元教育大臣 ハマース上級政治幹部 2023 年 10 月 20 日にガザで殺害

Dr Osama Al Muzyeeni, former Minister of Education and senior political leader of Hamas. Killed

in Gaza on October 20, 2023.

[関連サイト：<https://www.youtube.com/watch?v=UVng49U3ORs>]

(19) リファアト・アル・アルイーラ（アラリール）博士

詩人 ガザ・イスラーム大学英文学教授 弟・甥・妹・三人の姪と共に 2023 年 12 月 7 日に妹のフラットでイスラエルの空爆により殺害 رفعت العريع

Dr Refaat Alareer, poet and professor of English Literature at Islamic University in Gaza, killed in an Israeli air strike on his sister's apartment that also killed his brother, nephew, sister and three nieces on December 7, 2023.

[関連サイト：https://en.wikipedia.org/wiki/Refaat_Alareer

<https://wordswithoutborders.org/read/article/2024-01/remembering-dr-refaat-alareer/>

<https://www.aljazeera.com/features/2024/1/16/remembering-refaat-alareer-in-the-words-of-his-student>

<https://ifimustdie.net/>

<https://inthesetimes.com/article/refaat-alareer-israeli-occupation-palestine>

1979 年 9 月ガザ市生まれ ガザ・イスラーム大学卒業後、ロンドン大学で修士号、】マレーシアのプトラ大学で博士号取得 母校ガザ・イスラーム大学で教鞭を取るかたわら、文学表現による抵抗団体 We Are Not Numbers を共同設立 死の 1 年前の 2024 年 12 月には *If I Must Die: Poetry and Prose* を発表

「If I must die ガザ 絶望から生まれた詩」NHK スペシャル（2024 年 10 月 13 日放送）

<https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/episode/te/61QVMNJ2MN/>

<https://www.youtube.com/watch?v=TK18LZTTer4>

(20) ワーエル・アル・ズルド博士

1996 年以来、大オマル・モスクのイマームを務める アル・クドゥス通信制大学で教鞭を取ったこともある 2023 年 10 月 13 日に空爆で殺害

Dr Wael Al Zurd, an imam of the Great Omari Mosque since 1996, Al Zurd also previously lectured at Al Quds Open University. Killed on October 13, 2023, in an air strike.

[関連サイト：https://en.wikipedia.org/wiki/Wael_Al_Zard

<https://x.com/QudsNen/status/1748397581644796362>

<https://www.memri.org/reports/gaza-islamic-scholar-wael-al-zard-palestinians-who-work-israel-are-being-paid-their-own>

1972 年生まれ 1997 年全パレスチナを代表してコーラン朗誦大会（メッカ）に参加 修士号をガザ・イスラーム大学、博士号をエジプトのアイン・シャムス大学／アル・アクサー大学共同審査で取得 空爆後 3 日間集中治療室で治療も死亡 10・7 以前の数週間前に長男も殺害

TVでの発言から「家族を養う労働者の中には、占領地でユダヤ人のために働きたいと願う人もいます。なぜなら、そこでは労働者は1日100ドルを稼げるからです。それは構いませんが、その100ドルはユダヤ人からの贈り物ではなく、彼らの正当な権利であることを、私たち国民は理解すべきです。彼らは、あなたたちのお金であなたたちに支払っているのです」。

(21) イスマイル・アブー・サアダ博士

ガザ・イスラーム大学講師 2023年12月5日に殺害

Dr Ismail Abusaada, lecturer at Islamic University of Gaza. Killed on December 5, 2023.

(22) ハーレド・アル・ラムラーウィー博士

イスラーム大学 両親と娘と子どもたちを殺した最初の爆撃では生き延びたが、2023年12月18日の二回目の爆撃で殺害

Dr Khalid Al Ramlawi, Israa University. Survived an initial bombing that killed his parents, daughter and siblings but was then killed in another strike on December 18, 2023.

[関連サイト：<https://ourgaza.com/martyrs/dr-khaled-al-ramlawi/>]

(23) ムハンマド・ナッジャール博士

Dr Mohammad Al Najjar

(24) ラーエド・カッドーラ博士

アル・アズハル大学で英語を学び、マレーシアで修士号を取得 2023年11月20日に50人の家族とともにジャバリヤーで殺害

Dr Raed Qaddoura. An academic, Qaddoura studied English at Al Azhar University and earned a PhD in Malaysia. He was killed among 50 other family members in Jabalia on November 20, 2023.

[関連サイト：<https://ourgaza.com/martyrs/dr-raed-qaddoura/>]

マレーシアのUKM大学（Universiti kebangsaan malaysia）で博士号 他に多くの就職口があったが、8年間の不在を経てガザに帰ってきた 両親と妻と子どもたちと共に殺害]

(25) ムハンマド・アブー・ゾール博士

ガザ・イスラーム大学のハディース学教授 2023年12月7日のガザ市南東部のアル・ザイトーン地区の55人の隣人たちと共に空爆で殺害

Dr Mohammad Abu Zour, Professor of Hadith at Islamic University of Gaza. Killed in an air strike along with 55 others in Al Zaytoun neighbourhood, south-east of Gaza city on December 7, 2023.

(26) シャイフ・ユースフ・ジュムア・サラーム

イスラーム学者 元ワクフ・宗教関係大臣 2023 年 12 月 31 日にガザ中央部のアル・マガジー難民キャンプの自宅を空爆され殺害

Sheikh Yousef Jumaa Salameh, Islamic scholar and former minister of endowments and religious affairs. Killed in an air strike on his home in Al Maghazi refugee camp in central Gaza on December 31, 2023.

[関連サイト：<https://www.alquds.com/en/posts/56561?language=en>

エルサレム最高イスラーム評議会第一副委員長としての演説「あなたたちは預言者の旅を忘れてはならない。あなたたちはそれを解放し、守るために働き、子供たちにアル・アクサー（モスク）とパレスチナを愛するように教えなければならない。そして、すべての陰謀を打ち砕く岩を形成するエルサレムの兄弟たちと共に立ち上ろう」]

(27) ニダー・アフアーネ博士

ガザ・イスラーム大学カリキュラム・教導学部

Dr Nida Affaneh, Department of Curriculum and Instruction at Islamic University of Gaza.

(28) モウメン・シュウェイデ博士

ガザ・イスラーム大学

Dr Momen Shweideh, Islamic University of Gaza.

(29) サイド・アンワル・アル・ゼブダ博士

応用科学大学学長 2023 年 12 月 31 日にアル・ザイトーン地区の空襲で 8 名の家族と共に殺害 سعيد الزبدة

Dr Saeed Anwar Al Zebda, president of the University College of Applied Sciences in Gaza. Killed with eight members of his family in an Israeli raid on Al Zaytoun Quarter on December 31, 2023.

[関連サイト：https://en.wikipedia.org/wiki/Said_Al_Zebda

<https://x.com/FellaLahmar/status/1741839819318108517?lang=ar-x-fm>

<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3531>

1980 年ガザのアル・ザイトーン地区生まれ 英国のノッティンガム大学で電子通信とコンピュータ工学の修士号と博士号を取得

(30) シッディーク・ナッサール教授

ガザ・イスラーム大学経営管理学科長

Prof Siddiq Nassar, Head of Business Administration at Islamic University of Gaza.

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3907>

経済学部教授]

(31) ムハンマド・ナッサー博士

応用科学大学広報

Dr Mohammad Nassar, PR at University College of Applied Sciences.

(32) アハマド・アブー・サアデ博士

大学講師 2023 年 11 月 3 日 妻と他の家族と共に殺害

Dr Ahmad Abu Saadeh, university lecturer. Killed on November 3, 2023, with his wife and other family members.

(33) ジャミーラ・アル・シャンティー

ガザ・イスラーム大学教授会メンバー ハマースの政治家 2023 年 10 月 19 日にイスラエルの空爆で殺害 جميلة الشنطي

Dr Jamila Al Shanti, a faculty member of Islamic University of Gaza and a Hamas politician. Killed in an Israeli air strike on Gaza on October 19, 2023.

[関連サイト：https://en.wikipedia.org/wiki/Jamila_al-Shanti]

1955 年 3 月生まれ パレスチナ立法評議会議員 英語学の学位 2006 年までガザ・イスラーム大学で教鞭を取る ハマースの女性組織の創設者 2006 年には非武装の女性デモを組織し、 Beit・Hamoun のイスラエル軍のモスク包囲を突破 イスラエル軍は「人間の盾」だとして発砲し 1 名殺害、10 名負傷 ハマースの指導者の故アブデルアジーズ・ランテシー（2004 年暗殺）の妻 2021 年にハマースの政治局メンバーに選出

(34) アハマド・アブー・アブサー博士

パレスチナ大学工学部長・講師 聖家族学校に拘置、解放された後、2023 年 12 月 13 日に殺害

Dr Ahmed Abu Absa, lecturer and dean of the Engineering College at the University of Palestine. Killed on December 13, 2023, after having been detained at the Holy Family School and released.

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3544>]

1983 年 4 月生まれ パレスチナ大学メディア情報技術学部長 修士号は米国バージニア大学、博士号はサウジアラビアのファハド国王大学で取得 パレスチナ大学では iBridge プロジェクトの責任者として、ソフトウェア エンジニアリングにおける学生の能力を高め、国際市場へのソフトウェア輸出の可能性を高めることを目指していた

(35) ムハンマド・ジャミール・アル・ザーネン博士

マレーシア・イスラーム科学大学 ガザの家族を訪問中、2023 年 10 月 8 日、妻と四人の子どもたちと共に空爆で殺害

Dr Mohammad Jameel Al Zaaneen, University of Islamic Sciences Malaysia. Killed in an air strike

on October 8, 2023, alongside his wife and four children, while visiting family in Gaza.

[関連サイト：<https://gigaza.org/en/martyrs/mohamed-jameel-hasan-al-zaaneen/>
<https://airwars.org/civilian-casualties/ispt0032-october-8-2023/>

40 歳、少なくとも 22 名の家族（うち 12 人が子ども）と共に殺害 約 30 名が住んでいた四階建ての建物が空爆により全壊した

(36) イスマイル・アル・ゴムリー博士

ガザ・イスラーム大学

Dr Ismail Al Ghomri, Islamic University of Gaza.

(37) リゼク・オルーク博士

人民抵抗戦線副事務局長 2023 年 12 月に家族と共に殺害

Dr Rizeq Orouk, deputy secretary general of the Popular Resistance Movement. Killed on December 23 along with a number of family members.

(38) ワリード・アル・アムーディー博士

ガザ・イスラーム大学翻訳学教授 （2023 年）11 月 10 日殺害

Dr Waleed Al Amoudi, professor of Interpretation at Islamic University of Gaza. Killed on November 10.

(39) アブドッラー・アル・アムーディー博士

2023 年 11 月 11 日死亡

Dr Abdallah Al Amoudi, died on November 11, 2023.

(40) ハサン・アル・ラーディー博士

経済学者 研究者 2023 年 11 月初めに殺害

Dr Hassan Al Radi, economist and researcher. Killed in early November 2023.

(41) ムハンマド・アブー・アマーラ博士

Dr Mohammad Abu Amara

(42) ムハンマド・アル・ローフ博士

アル・アクサー大学の IT サービスの責任者

Dr Mohammad Al Louh, head of IT services at Al Aqsa University, Gaza.

(43) ハーレド・アル・ナッジャール博士

Dr Khaled Al Najjar

(44) シャリーフ・アル・アサール博士

ガザ・イスラーム大学教育学部講師 2023 年 12 月にガザのアル・ダラジ地区の自宅でイスラエルの空爆を受け多数の家族と共に殺害

Dr Shareef Al Asali, lecturer at Islamic University of Gaza in the College of Education. Killed along with a large number of his family members in an Israeli air strike on his home in Al Daraj neighbourhood in Gaza on December 7, 2023.

[関連サイト：<https://gigaza.org/en/martyrs/sharif-al-asali/>]

(45) ムハンマド・ハッスーナ

大学講師

Mohammad Hassouna, university lecturer.

(46) ムハンマド・アブー・アハマド・アル・ガフル博士

2023 年 10 月 23 日ハーン・ユーニスの自宅にて、妻と息子のバラールとハウサイファ、娘のジャーナとナダーと共に殺害

Dr Mohammad Abd Ahmad Al Ghafour, killed on October 23, 2023, by an Israeli air strike on his home in Khan Younis, alongside his wife, sons Bara' and Houthaifa, and daughters Jana and Nada.

[関連サイト：パレスチナ人権センター報告 January 30, 2024 “This is A Story of 40 Days under Siege and Loss of 36 Members of My Family”

<https://pchrgaza.org/this-is-a-story-of-40-days-under-siege-and-loss-of-36-members-of-my-family/>

(47) ハーゼム・アル・ジャマリー博士

ガザ大学公共法学科長 2023 年 12 月 23 日に自宅を空爆され殺害

Dr Hazem Al Jamali, head of the Public Law Department at Gaza University. Killed on December 23, 2023, in an air strike on his home.

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3736>

1969 年 1 月生まれ ベルシェバからの難民家族の一員として何回も強制移住を経験してきた 長年、警察で勤務し、友好国での経験を積んだ後、総合調査局で勤務。同時にガザのアル・アズハル大学で学んだ

(48) アミン・ダブール講師

服用薬の不足のため心臓発作で死亡

Lecturer Ameen Dabbour, died of a heart attack due to the lack of medicine.

(49) ホサーム・アブー・アンザ博士

Dr Housam Abu Anza

(50) ヤヒヤ・ガーベン博士

Dr Yehya Ghaben

(51) ハーレド・シャラフ博士

アル・アクサー大学講師

Dr Khaled Sharaf, lecturer at Al Aqsa University.

[関連サイト：<https://www.alaqsa.edu.ps/en/resume/41/Khaled-K-Sharaf>

<https://alaqsa.edu.ps/en/page/4711/Alaqsa-University-Gaza-Faculty-of-Computer-and-Information-Technology-engineering-and-networking-Academic-Staff>

コンピューターサイエンスの助教授 コンピュータ・情報学部長

(52) アンシーヤ・カンディール博士

Dr Anseiah Qandeel

(53) ムハンマド・ハッマード博士

アル・アクサー大学講師

Dr Mohammad Hammad, lecturer at Al Aqsa University.

(54) ハリール・アブー・ヤヒヤー博士

応用科学大学 妻と子どもたち、母と二人の兄弟と共に（2023年）10月30日殺害

Dr Khalil Abu Yehya, University College of Applied Sciences. Killed with his wife, children, mother and two brothers on October 30.

(55) ズィアード・アル・タトリー博士

ジャバリヤのアル・アウダ病院の医師 2023年11月21日に兄弟の安否を確認しに行ったところを殺害

Dr Ziad Al Tatri, doctor at Al Awda Hospital in Jabalia. Killed on November 21, 2023 after going to check on his brother.

(56) マイサラ・アル・ライエス博士

ガザのアル・アズハル大学およびロンドンのキングズカレッジを卒業 アル・ライエス氏の家は（2023年）11月7日に爆撃され、彼は七階建ての建物が倒壊した瓦礫の中で60時間生き延びていたが死亡

Dr Maisara Al Rayyes. A graduate of Al Azhar University in Gaza and King's College London, Al

Rayyes's home was bombed on November 7 and he remained beneath the rubble of the six-storey building for 60 hours until he died.

[関連サイト：<https://www.bmj.com/content/384/bmj.q123>

<https://www.kcl.ac.uk/the-dr-maisara-alrayyes-scholarship>

1995 年 1 月ガザ生まれ 世界の医療団 Médecins du Monde (Doctors of the World)のメンバーとして 2021 年 10 月以降、活動し、ガザの医療水準の向上に貢献してきた若き医師であった (28 歳) ガザの国際医学生連合 International Federation of Medical Students' Associations (IFSMA) の会長を務めたこともある (2016-17 年) 2017 年から 2019 年まではパレスチナ子ども救済基金のプロジェクトコーディネーターを務める

(57) アハマド・シャイール博士

Dr Ahmad Al Shaaer

(58) ムハンマド・オドワーン博士

Dr Mohmmad Odwan

(59) ドーア・アル・マスリー

エドワード・サイード記念図書館司書 2023 年 12 月 7 日に両親と兄弟と共に殺害

Doaa Al Masri, librarian at Edward Said Library. Killed on December 7, 2023 with her parents and siblings.

[関 連 サ イ ト : <https://www.mecaforpeace.org/meca-remembers-colleague-and-friend-doaa-al-masri/> (MECA remembers colleague and friend Doaa Al-Masri Dec 09, 2023 | BY: Josina Shields-Stromsness)

<https://togetherrising.org/grieving-the-loss-of-doaa-al-masri/>

(Grieving the loss of Doaa Al-Masri By Together Rising | December 12, 2023)

<https://www.mecaforpeace.org/category/person-of-the-month/>

<https://teenlibrarian.co.uk/2023/12/22/on-december-7th-a-librarian-died-in-gaza/>

図書館の被害状況：The Gaza Municipal Library and the Rashad al-Shawa Cultural Center that was the home of the Diana Tamari Sabbagh Library that contained more than 100.000 books and was founded by Haseeb Sabbagh in the memory of his wife Diana Tamari, have both been razed by Israeli forces. There is currently no news on the current condition of the Edward Said Public Library in North Gaza.

(60) ヌール・アル・ディー・ハッジヤージ

作家 (2023 年) 12 月 2 日にアル・シュジャイヤの自宅でイスラエルの空爆により殺害

Nour Al Deen Hajjaj, author. Killed in an Israel air strike on his home in Al Shujaiyya on December 2.

[関連サイト：<https://www.gazapassages.com/noor-aldeen-hajjaj/english>

<https://www.presstv.ir/Detail/2024/02/26/720825/humans-gaza-nour-hajjaj-gaza-writer-teacher-dramatist>

27 歳 小説『Wings That Do Not Fly』は 2021 年に出版、2022 年には最初の戯曲『The Grey Ones』が舞台上で上演

(61) ナーヘド・アル・ハラゼーン博士

ガザのアル・シファー病院の元産婦人科長 2023 年 12 月 8 日のイスラエルの空爆により家族と共に殺害

Dr Nahed Al Harazeen, former head of Obstetrics at Al Shifa Hospital in Gaza. Killed with members of her family in an Israeli air strike on December 8, 2023.

(62) ニダール・カッドーラ博士

アル・アクサー大学

Dr Nidal Qaddoura, Al Aqsa University.

[関連サイト：<https://gufsjp.org/fact-sheet-scholars-killed/>

アル・アクサー大学医学実験科学部門の教授 2023 年 11 月 20 日にジャバリヤ難民キャンプでイスラエルの空爆により殺害]

(63) アハマド・マフムード博士

アル・アクサー大学 アル・カラー

Prof Ahmad Mahmoud Al Qara, Al Aqsa University.

(64) ムスタファー・アル・サッワーフ講師

作家・ジャーナリスト 2023 年 11 月 18 日に自宅でイスラエルの空爆により家族と共に殺害

Lecturer Mostafa Al Sawwaf. Writer and journalist. Al Sawwaf was killed along with members of his family in an Israeli air strike on his home on November 18, 2023.

[関連サイト：<https://cpj.org/data/people/mostafa-al-sawaf/>

<https://www.ifj.org/media-centre/news/detail/article/mustafa-al-sawaf>

<https://www.alquds.com/en/posts/101250>

著名なジャーナリスト・作家 1999 年からパレスチナ情勢を専門とする新聞記事を執筆、様々なメディアに頻繁に出演し著作も多数『怒りの日々』(2005 年)、6 部構成の記事シリーズ、政治短編小説集『ある家長がいた』(2017 年)、『記憶からのハマス』(2017 年) など ガザ市シャワー広場の自宅でイスラエルの空爆により妻と 2 人の息子と共に死亡

(65) ムハンマド・アーテフ

アル・クトス大学講師・技師

Mohammed Atef Awad, lecturer and engineer at Al Quds University.

(66) ヒバ・カマル・アブー・ナダー

詩人・小説家・栄養士 2023 年 10 月 20 日にハーン・ユーニスの自宅へのイスラエル軍の空爆により殺害

Hiba Kamal Abu Nada, poet, novelist and nutritionist. Killed in an Israeli air strike on her home in Khan Younis on October 20, 2023.

[関連サイト : <https://wordswithoutborders.org/read/article/2024-01/pull-yourself-together-and-seven-skies-of-homeland-hiba-abu-nada-huda-fakhreddine/#:~:text=Hiba%20Abu%20Nada%20was%20a,the%20age%20of%20thirty%2Dtwo.>

https://en.wikipedia.org/wiki/Hiba_Abu_Nada

32 歳 1991 年 6 月サウジアラビアのメッカ生まれ ナクバの際に故郷のバイト・ジルジャ村を追われた難民家族の出身 ガザ・イスラーム大学、アル・アクサー大学修士課程で栄養学を学ぶ 孤児関係施設などで働くかたわら、執筆活動

詩集の他、小説も発表 **الأكسجين ليس للموتى** 『酸素は死者のものではない』は、2017 年第 20 回アラブ創造性・シャルジャ賞 20th annual Sharjah Award for Arab Creativity で 2 位を受賞 10 月 8 日に X に投稿された最後の投稿で、彼女はこう書いている。

ガザの夜は、ロケット弾の輝きを除けば暗く、
爆弾の音を除けば静か、
祈りの慰めを除けば恐ろしく、
殉難者たちの光を除いては真っ暗だ。
おやすみなさい、ガザ。

(67) ハッマーン・アル・ルーフ博士

ガザでただ一人の病理学者で腎臓移植の専門家 2023 年 11 月 12 日に自宅へのイスラエル軍の攻撃で父親と共に殺害

Dr Hammam Al Louh, the only pathologist and kidney transplant expert in Gaza, was killed alongside his father in an Israeli strike on his home on November 12, 2023.

[関連サイト : https://en.wikipedia.org/wiki/Hammam_Alloh

37 歳 1986 年生まれ アル・シファー病院 医療状況について 10 月 23 日イスラエルの記者のインタビューに答えている

(68) マルワーン・アル・タラズィー

ガザにあるビルゼイト大学支部の継続教育センター所長。

Marwan Al Tarazi, director of the Centre for Continuing Education at Birzeit University branch office in Gaza.

[関連サイト：<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2023/11/israel-opt-nowhere-safe-in-gaza-unlawful-israeli-strikes-illustrate-callous-disregard-for-palestinian-lives/>]

2023 年 10 月 19 日、イスラエル軍の空爆により、ガザ旧市街中心部にある聖ポルフィリウス・ギリシャ正教会の敷地内の建物が破壊された。そこには、ガザの小規模なキリスト教徒コミュニティに属する推定 450 人の国内避難民が避難していた。この攻撃で民間人 18 人が死亡、少なくとも 12 人が負傷した。——サミー・タラズィーさんはアムネスティ・インターナショナルに対し、両親のマルワーンさんとナーヘドさん、生後 6 か月の姪のジョエルさん、80 歳の親戚のエレインさんが殺害されたと語った。On 19 October, an Israeli air strike destroyed a building in the compound of the Saint Porphyrius Greek Orthodox Church in the heart of Gaza's old city, where an estimated 450 internally displaced members of Gaza's small Christian community were sheltering. The strike killed 18 civilians and injured at least 12 others.——Sami Tarazi told Amnesty International that his parents, Marwan and Nahed, were killed, along with his six-month-old niece, Joelle, and his 80-year-old relative, Elaine.

(69) アブデルカリーム・ハシャージュ博士

作家・研究者 2023 年 10 月 24 日家族と共に自宅でイスラエルの空爆で殺害

Dr Abd Al Kareem Hashash, writer and academic researcher. Killed in an Israeli air strike on his family home on October 24, 2023.

[関連サイト：<https://www.all4palestine.org/ModelDetails.aspx?gid=7&mid=121099&lang=en>]

1947 年ベルシェバ生まれ ダマスカス大学に学ぶ パレスチナの伝統や慣習、民謡や諺を研究 パレスチナ作家・ジャーナリスト連盟 アラブ作家連盟所属 数多くの著作がある

Arts of literature and singing among the tribes of the Negev in 1984

The family in the Palestinian and Arab popular proverb, 1986

Custom and custom law 1991

A Footprint on the Sand: Short Stories, Damascus, 1996

Zawadah Al-Hader and Al-Badi: Selections from the Arab Heritage, Damascus, 1998

Explanation and verification of the collection of Aniz Al-Arabi, popular poetry, Amman, 1998

Land of the Moon: Damascus Novel 2000

The Barren Palm Tree: A Damascus Novel 2002

Tribes and clans of Palestine, Damascus, 2004

Dictionary of Spoken Words in the Arab Countries, Damascus, 2007

Libyan proverbs and their counterparts, Damascus 2007

The Just King: Martyr Nour al-Din Mahmoud Zengi, Damascus, 2008

Diwan Nassar Al-Dhafnan, popular poetry from Houran, Damascus, 2009

Commander of the Faithful, Omar bin Al-Khattab, Gaza, 2014

(70) ナーヘド・アル・リファーイー博士

ガザ・イスラーム大学 ヘブライ語講師 2023 年 10 月 24 日に殺害

Dr Nahed Al Refati, a lecturer in Hebrew at Islamic University of Gaza. Killed on October 24, 2023.

[関連サイト：<https://gufsjp.org/fact-sheet-scholars-killed/>

<https://www.newarab.com/features/gazans-killed-israel-are-not-numbers-they-had-dreams-too>

62 歳 アル・アズハル大学教授

(71) ターリク・サーベト

2021 年から 2022 年までミシガン州立大学ハンバート・H・ハンフリー・フェロー。2023 年 10 月 29 日にガザ中心部の自宅へのイスラエルの空爆により、妻、子供、親戚とともに殺害
Tariq Thabet, a Michigan State University Hunbert H Humphrey Fellow from 2021-2022. Thabet was killed along with his wife, children and extended family in an Israeli air strike on his home in central Gaza on October 29, 2023.

[関連サイト：

https://subscribe.lansingstatejournal.com/restricted?return=https%3A%2F%2Fwww.lansingstatejournal.com%2Fstory%2Fnews%2Flocal%2Fcampus%2F2023%2F11%2F07%2Fvigil-tariq-thabet-michigan-state-fellow-gaza%2F71493370007%2F&gps-source=CPROADBLOCKDH&itm_source=roadblock&itm_medium=onsite&itm_campaign=premiumroadblock&gca-cat=p

<https://www.aljazeera.com/news/2023/12/5/gazas-entrepreneurs-are-being-killed-by-israel>

若手起業家のリーダーの一人であった

こうした企業家の殺害は“Eliticide”エリートサイド（エリートの絶滅）だという指摘もある
The targeting of an ethnic group’s political and economic leadership is known as “eliticide”, a word coined in the 1990s by British journalist Michael Nicholson to describe the Bijeljina massacre in Bosnia and Herzegovina.

According to Arnesa Buljusic-Kustura, a genocide expert, researcher and lecturer, the purpose of eliticide is to prevent the targeted community from regenerating or rebuilding itself.

“Targeting intellectuals, academics, activists, leaders of any sort has always been a common thread in genocide,” she wrote on X, formerly known as Twitter. “Killings of the most notable of your community are done to make you remember nobody is safe, to make you lose hope, to ensure the community doesn’t resist or reorganise.”

(72) アドナーン・ハッソーナ博士

ガザ大学メディア学講師・ジャーナリスト 2023 年 12 月 1 日に家族と共にイスラエルの空爆により殺害

Dr Adham Hassounah, media lecturer at Gaza University and journalist. Killed with his family in an Israeli air strike on his home on December 1, 2023.

[関連サイト：<https://cpj.org/data/people/adham-hassouna/>
<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3547>
<https://www.middleeasteye.net/live-blog/live-blog-update/israeli-strike-kills-another-palestinian-journalist-gaza>

エジプトの 10 月大学で学ぶ イスラー大学助教授

(73) アブデルナーセル・アル・サカー教授

アル・アクサー大学 2024 年 1 月 7 日の自宅へのイスラエルの空爆で殺害

Prof Adel Naser Al Saqqa, Al Aqsa University. Killed in an Israeli air strike on his home on January 7, 2024.

[関連サイト：<https://electronicintifada.net/content/how-israel-killed-my-favorite-teacher/44976>
<https://x.com/Timesofgaza/status/1744041205938409756>

(74) ナーセル・イスマイル・アル・ヤファウィー

ガザ・イスラーム大学オーラルヒストリー講師 2024 年 1 月殺害

Nasser Ismail Al Yafawi, lecturer in oral history at Islamic University of Gaza. Killed in January 2024.

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3738>
1 月 1 日殺害 ビルゼイト大学卒業 ناصر اليافاوي

(75) ローラ・ファドル・アル・ジャワード

マルチメディアの講師を複数の大学で務める フリージャーナリスト 2023 年 11 月 25 日の空爆で殺害

Rola Fadl Abd Al Jawad, lecturer in Multimedia at several universities and a freelancer. Killed in an air strike on November 25, 2023.

(76) ホサーム・ハマード博士

ガザの大学の組織病理学の教授 アル・シファー病院の組織病理学部門責任者 イスラエルのスナイパーに撃たれ、出血多量で死亡

Dr Houssam Khamada, a professor in Histopathology in Gaza's Colleges and the head of the Department of Histopathology in Al Shifa medical complex, he was shot by an Israeli sniper and left to bleed to death.

[関連サイト：https://www.instagram.com/p/C_woxF5vYaz/

<https://dohanews.co/israeli-forces-shot-al-shifa-hospitals-head-of-pathology-in-gaza-and-left-him-to-bleed/>

2024 年 1 月 22 日 イスラエル軍は月曜日、ガザ地区西部にあるアル・シファー病院の病理学部門長、ホサーム・ハマダ医師を銃撃し、地面に放置して出血させた。これを受け、国際機関にハマダ医師の救出を求める声が高まっている。ハマダ医師の容態に関する最新情報は、月曜日深夜にパレスチナの報道機関と活動家から伝えられたが、現地の医療従事者がハマダ医師を救出できたかどうかについては、新たな情報はない。

Israeli forces shot Al-Shifa Hospital's head of the pathology department, Dr Hossam Hamada, in western Gaza on Monday and left him to bleed on the ground, triggering calls on international agencies to save him.

The last update on Dr Hamada's condition came on Monday midnight by Palestinian news outlets and activists, without any updates on whether medics on the ground were able to save him.

(77) イブラヒーム・ハイヤール博士

Dr Ibrahim Khayyal

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3919>]

Researcher and academic lecturer

(78) バッサム・シャヒーン博士

アル・アズハル大学臨床検査医学科

Dr Bassam Shaheen, Department of Laboratory Medicine at Al Azhar University in Gaza.

[関連サイト：<https://gazahcsector.palestine-studies.org/en/node/8951964>] 1964 年 1 月生まれ 2021 年にスーダンのアル・ブターナ大学で看護学の博士号を取得。アル・アズハル大学で大学院研究科の副学部長を務めた 2023 年 11 月 11 日自宅を狙われて殺害

(79) ハリール・ナッハーラ博士

ガザ・イスラーム大学講師

Dr Khalil Nakhalla, lecturer at Islamic University of Gaza.

[関連サイト：<https://gazahcsector.palestine-studies.org/en/node/571>]

1956 年 4 月生まれ 麻酔科および集中治療科 アル・シファー病院の麻酔科主任 2023 年 11 月 12 日に自宅を爆撃され家族と共に殺害

(80) スレイマーン・ターハー・アブドルガフル

科学応用大学講師 修士号取得者

Suliman Taha Abd Al Ghafour, a lecturer in the College of Science and Technology, with a master's degree.

[関連サイト：<https://gigaza.org/en/massacres/abdul-ghafour-family-massacre-december-7-2023/>]

65 歳 2023 年 12 月 2 日にアブドルガファール家の 36 人が殺害

(81) ネスマ・アブー・シャクラ教授

アル・アクサー大学

Prof Nesma Abu Shaqra, Al Aqsa University.

(82) ウィサーム・イーサ教授

アル・アクサー大学地理学部教授、マンチェスター大学客員研究員。2024 年 1 月初旬、空爆により自宅アパートが被害を受け死亡

Prof Wiesam Essa, department of geography at Al Aqsa University and visiting fellow of the University of Manchester. Killed in early January 2024, when his apartment block was damaged in air strikes.

[関連サイト：<https://www.manchester.ac.uk/about/news/in-memoriam---dr-wiesam-essa/>]

48 歳 1975 年 2 月生まれ マンチェスター大学客員研究員（2019 年 6 月-2021 年 5 月）「彼の研究テーマの一つは、パレスチナにおける水利用に関する衛星リモートセンシングを用いた分析 王立地理学会からの助成金も一部受けた 地理情報科学の修士課程の指導にも携わりました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックにもかかわらず、彼にとって非常に生産的な時期であり、地理学科に彼を迎え入れることができたのは光栄だった。彼はこの街と大学の国際的な雰囲気が高く評価していました」

(83) ジハード・スレイマーン・アル・マスリー教授

歴史学者 アル・クドス通信制大学ハーン・ユニス支部長。イスラエル軍によるハーン・ユニスへの砲撃で負傷し、(2023 年) 10 月 17 日に死亡。

Prof Jihad Suleiman Al Masri, historian and director of Al Quds Open University's Khan Younis branch. Killed on October 17 after succumbing to his injuries during Israeli shelling of Khan Younis.

[関連サイト：<https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/node/3557>]

1963 年 1 月ラファハ生まれ ヨルダン・ヤルムーク大学卒業 リビアやヨルダンでの教職経験 数多くの著作がある 以下はその一部

The Memory of Place among Displaced Palestinians and its Impact on the Culture of the Right of Return (2009)

Oral History in the Gaza Strip: A Review of Achievements and Aspirations (2009)

Canada Camp for Palestinian Refugees in Rafah Sinai, 1982-2000: An Oral Documentary Study (2002)

The Martyrs Return: An Oral Documentary Study of the Martyrs of the Al-Aqsa Intifada in Khan Younis Governorate (2002)

(84) ハサン・カファールネ教授

アル・クトス通信制大学

Prof Hassan Kafarneh, Al Quds Open University.

(85) ムハンマド・アル・ナバーヒン教授

Prof Muhammad Al Nabahin, Al Quds Open University.

アル・クトス通信制大学

(86) イブラヒーム・バルフーム・アブー・サラハ教授

ガザ・イスラーム大学

Prof Ibrahim Barhoum Abu Salah, Islamic University of Gaza.

(87) イスラーム・スレイマーン・ハブーシュ教授

ガザ・イスラーム大学

Prof Islam Suleiman Haboush, Islamic University of Gaza.

〔関連サイト： <https://gigaza.org/en/martyrs/islam-suleiman-haboush/>〕

40 歳 歴史学教授（女性） 2023 年 10 月 19 日殺害 イスラエル占領軍の航空機が、事前の警告や通知なしにガザの港近くのハブーシュ家の家を爆撃し、殺害した

(88) アリー・アル・キリナーウィー教授

パレスチナ大学

Prof Ali AlQirinawi, University of Palestine.

(89) アミーン・アル・ハフティーティー教授

ガザのアル・アズハル大学の歯科医兼助講師。母親と兄弟と共に 2 度にわたり避難した後、2023 年 11 月にイスラエルの空爆で殺害

Prof Amin Al Bahtiti, dentist and assistant lecturer at Al Azhar University of Gaza. Killed in Israeli air strikes in November 2023 after being displaced with his mother and siblings twice.

関連サイト： <https://www.instagram.com/p/C0r0Tl0IQLg/>

<https://www.presstv.ir/Detail/2024/05/12/725430/humans-gaza-amin-bahiti-cheerful-dentist-killed-searching-food>

<https://aurdip.org/en/war-on-gaza-some-of-the-prominent-palestinian-academics-and-scientists-killed-by-israel/>

24 歳 2023 年 11 月 5 日母親と 9 人の兄弟姉妹のために食料を探しに家を出たが、そのまま二度と戻って来ず。2 日後、行方不明になり、その後、イスラエル軍によるガザ地区への空

爆で遺体が発見。

(90) アイマン・ラファティー博士

政治アナリスト・作家

Dr Ayman Rafati, political analyst and writer.

[関連サイト：<https://www.instagram.com/p/C3VwC7lPyrP/?locale=es>

<https://www.instagram.com/reel/C3VoZK5vbin/>

<https://cpj.org/data/people/ayman-al-rafati/>

<https://www.middleeasteye.net/live-blog/live-blog-update/israeli-forces-kill-palestinian-political-analyst-gaza>

<https://maktoobmedia.com/world/israeli-forces-kill-palestine-political-analyst-his-wife-children-part-of-ongoing-scholasticide-alleges-rights-activists/>

ヒズボラ傘下の放送局アル・マヤディーンに寄稿 アル・マヤディーンとアルジャジーラに定期的に出演していたパレスチナ人ジャーナリスト、作家、政治アナリスト

パレスチナ地域研究センター理事会メンバー the board of the Center for Regional Studies – Palestine ガザ市北部に妻と子どもたちと避難していたところを空爆で殺害 2024 年 2 月

以上の出典：ユーロ地中海中東研究学会

* 上記の詳細内容の一部については個別に検証できていないものもある

Source: Euro-Med, Middle East Studies Association

*Some of the details above could not be independently verified

【参考：その他の犠牲者リストに関するサイト情報】

○ジョージタウン大学教職員「パレスチナに正義を」による殺害された学者のリスト

<https://gufsjp.org/fact-sheet-scholars-killed/>

Georgetown Faculty & Staff for Justice in Palestine

Fact Sheet: Scholars Killed

学長 3 名、学部長 7 名、教授 65 名の名前がリスト化されている

○殺害された科学者・学者の一覧表 (PDF ファイル)

chrome-extension://efaidnbmninnbpcapjpcglclefindmkaj/https://www.al-fanarmedia.org/wp-content/uploads/2024/10/List-of-Scientists_Academics-Killed-by-IOF-since-Oct-7th-Research.pdf

○教員の犠牲者リスト Victims of educational staff

https://gazaeducationsector.palestine-studies.org/en/educational_team

○北米中東学会役員会・学問の自由委員会の共同非難声明（MESA Board Joint Letter With CAF condemning the decimation of the education sector in Gaza, September 12, 2024）

<https://mesana.org/advocacy/letters-from-the-board/2024/09/12/mesa-board-joint-letter-with-caf-condemning-the-decimation-of-the-education-sector-in-gaza>

○104 名の殺害された学術関係者のリスト

Over 100 Academics Killed In Gaza War

Posted on May 20, 2024

<https://aurdip.org/en/over-100-academics-killed-in-gaza-war/>

○彼らの名前を知ってください イスラエルのガザ攻撃で殺されたパレスチナの子どもたち 1万人のリスト：65 人に一人の子どもが殺害

Know their names “Palestinian children killed in Israeli attacks on Gaza” al-Jazeera Report

<https://interactive.aljazeera.com/aje/2024/israel-war-on-gaza-10000-children-killed/>

○国際ペンクラブ PEN International “War on Writers: A look at writers killed in Gaza”

45 名の作家が殺害

<https://www.pen-international.org/war-on-writers-gaza-cases->

○人的被害：ガザとヨルダン川西岸での戦争による間接的な死者

The Human Toll: Indirect Deaths from War in Gaza and the West Bank,

chrome-

extension://efaidnbmnnnibpcajpcgiclfndmkaj/https://watson.brown.edu/costsofwar/files/cow/imce/papers/2023/2024/Costs%20of%20War_Human%20Toll%20Since%20Oct%207.pdf

○医療関係者の殺害リスト

https://en.wikipedia.org/wiki/Killing_of_health_workers_in_the_Gaza_war

[資料 4] 日本によるシリア難民留学生支援事業

日本によるシリア難民留学生支援事業は、2016（平成 28）年 5 月の伊勢志摩サミットにおける日本政府の表明によって開始された。「G7 伊勢志摩サミットに向けた我が国の主な貢献策」では以下のように述べられている（下線は引用者）。

「5 月 20 日に SDGs 推進本部を立ち上げ、次のような貢献策を発表。1 中東地域の安定化のための協力：難民を始めとする中東地域の諸課題の根本原因に対処するため、短期的な視点からの人道支援のみならず中長期的な視点から、日本の強みをいかした「人づくり」など、社会安定化と包摂的成長のための開発支援を行う。今後 3 年間（2016～18 年）で約 2 万人の人材育成を含む、総額約 60 億ドルの支援を実施。さらに JICA 専門家等の人道支援チーム（注：仮称）の難民キャンプ等への派遣やシリア人留学生の受入れ拡大を行う＝以下略＝」（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000158289.pdf>）。

この宣言を踏まえ JICA（国際協力事業団）では、「JICA シリア平和への架け橋・人材育成プログラム」を 2017（平成 29）年度に開始した。そのウェブサイトの説明によれば（<https://www.jica.go.jp/overseas/syria/others/jisr/index.html>）、同プログラムは「シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に教育の機会を提供するもの」であり、「技術協力の枠組みの中で、ヨルダン、レバノンに難民として逃れているシリア人の若者を対象に、2017 年より留学生を日本に受け入れ」るものであるとする。また「JICA として初めて、難民を留学生として受け入れる事業で、難民支援に知見を持つ国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の協力を得ながら実施して」いるとのことである。2017-24 年の 8 年間で 73 名の留学生を受け入れてきたという。そのほとんどが卒業後、就職し、2023 年には同窓会組織もできた。

一方、この政府の取組に先行し、民間の団体の難民支援協会（JAR）が 2017 年 3 月末からトルコに避難したシリア人難民の留学支援を始めた（<https://www.refugee.or.jp/jar/syria/>）。この支援においては、日本語学校が授業料無償で受け入れ、生活費はアルバイトで自活することが条件であったという。留学生の支援においては、シリアでの協力事業に従事した経験を持つ人たちのボランティア組織 OV 会が勉学の支援や受け入れ社会との交流などに尽力してきた。その後、2021 年には渡邊利三国際奨学金の助成を受けて、難民の留学生支援の事業を拡大するため、パスウェイズ・ジャパン（PJ）が JAR から独立して設立された。PJ は当初、一般財団法人として発足し、その後公益財団法人になり、シリアに加えてアフガニスタンやミャンマー、ウクライナからの難民の留学生の支援を行った。支援を受けた留学生の総数は 2017 年から数えて約 200 名に上るという（<https://pathways-j.org/archives/9365>）。同ウェブサイトは実績と意義を次のように説明している。「これまで日本に受け入れた 205 名（帯同家族含む）のうち、113 名がプログラムを卒業し、うち 34 名は進学、また日本での就業を希望した 55 名の内約 76%が就職またはフリーランスとして活躍しています。人財不足に直面している日本社会にとって、様々な困難を乗り越え、多

様な経験・スキルを持った難民・避難民の若者は、新しい人財との出会いにもなっています」。

以上に加えて文科省の政府留学生の枠では、2017年～21年の5年間に約25名の受け入れがなされたとの情報もある。